



日本プライマリ・ケア連合学会
中国ブロック支部 活動報告

発行人：松下明
事務局：〒708-1323 岡山県勝田郡
奈義町豊沢 292-1
奈義ファミリークリニック内
Tel. 0868-36-3012

ニュースレター No.6 (2014.12)

【活動予定】

中国ブロック支部では 2015 年 2 月に山口県で以下の企画をしています。

(今年度から冬に中国ブロック支部交流会 (山口・島根・鳥取)、秋に中国ブロック支部学術集会 (広島・岡山) を持ち回りで予定しています。)

●2015 年 2 月 14 日 (土)

中国ブロック支部交流会 in 山口 (セントコア山口 湯田温泉)

12:00～ 開場

*12:00～13:00 中国ブロック支部 代議員会

13:00～13:30 開会&イントロ

13:30～15:00 家族志向のプライマリ・ケア (岡山家庭医療学センター：松下先生)

15:00～15:15 休憩

15:15～16:45 ポートフォリオ&模擬レジデントデイ (広島大学 総合診療科：横林先生)

16:45～17:00 休憩&会場準備

17:00～18:00 ポートフォリオ発表会

*学会単位認定のセミナーとして申請予定

●2015 年 2 月 15 日 (日)

家庭医の診療底上げ講座 -感染症の common disease 総ざらい-

9:00～12:00 感染症レクチャー

(国立国際医療研究センター 国際感染症センター：忽那先生)

12:00～13:00 休憩

13:00～15:00 感染症レクチャー

*学会単位認定のセミナーとして申請予定

■会費 医師参加費：2000 円、学生無料

【活動報告】

中国ブロック支部では以下の活動を行いました。

【勉強会報告】 第二回中国地方プライマリ・ケア交流会

【概要】

日時：2014年10月18日（土）12:30～18:00

場所：山口大学吉田キャンパス

参加人数：41名（内訳 医学生 34名 医学生以外の学生 5名 医師 1名 その他 1名）

協力：80大学行脚プロジェクト中四国ブロック代表 松坂英樹

共催：一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 中国ブロック支部

公益社団法人地域医療振興協会山口県支部

講師（敬称略、()内は所属）：

齊藤裕之(萩市民病院)

佐藤誠(浜田市国民健康保険あさひ診療所)

中山元(社会医療法人清風会 奈義ファミリークリニック)

原田唯成(医療法人新生会 いしいケア・クリニック)

矢田明子(NPO 法人おっちラボ／雲南市立病)

原田昌範（山口県立総合医療センター へき地医療支援部）

【タイムテーブル】

12:00～12:30 受付

12:30～13:00 アイブレ・開会式など

13:00～13:30 全体講演：『家庭医が家族をみない理由』（齊藤裕之）

13:40～14:50 セッション①：a. 『見えていますか？家族の木』（原田唯成）

b. 『行動変容』（中山元）

15:50～16:10 セッション②：a. 『多職種連携ワークショップ』（矢田明子）

b. 『論文の読み方』（佐藤誠）

16:30～18:00 学生活動紹介・Meet the Experts

18:30～ 懇親会

※ ()内講師。敬称略。

【内容】

中国地方のプライマリ・ケア領域に興味のある学生対象のセミナーである「中国地方プライマリ・ケア交流会」の第二回を山口大学にて開催致しました。中国地方 6 大学の学生が協力し、所属に関係なく全員が楽しめるような内容を目指し、準備を進めました。

昨年度と同様、全体講演の後にセッションは各時間帯に 2 種類のレクチャーを用意し、参加者が希望に応じてどちらか一方を選択する形式としました。また、昨年好評であった Meet the Experts の時間を増やし、別途懇親会も行いました。結果的に、県内外よりコメディカルの学生も含め、約 40 名の方に参加して頂くことが出来ました。

全体講演では、家庭医療的アプローチや BPS モデルといったキーワードを通して、「家庭医っぽさ」とは何かということについて、お話して頂きました。参加者一人ひとりが家庭医の役割についてのイメージを持つことが出来ました。

『見えていますか？家族の木』ではグループに分かれ、McDaniel SH らによる「家族の木」の図にある人物の関係がどのようなものかを考えました。グループごとに様々な意見が出ており、患者とその家

族にアプローチする難しさや大切さを学ぶことが出来ました。

『行動変容』では、LEARN のアプローチや重要度・自信度モデル等を学び、講師の実演の後、実際に医師役と患者役に分かれ、ロールプレイングを行いました。実際にロールプレイを行うことで、実践することの難しさ、行動変容を学ぶ大切さを感じる事が出来ました。

『多職種連携ワークショップ』では、講師である矢田明子先生が行われている雲南省の地域コミュニティケアの紹介の後、「医療関係者に必要な意識や行動は？」「円滑な多職種連携を進めて行くにはどのような対話が必要か？」の 2 テーマでワールド・カフェを行いました。グループでの作業自体が多職種連携を疑似体験しているようであり、参加者一人ひとりが様々な気付きを得たセッションとなりました。

『論文の読み方』では PICO を使い、論文を批判的に読む方法を教わった後、論文のデータを使って患者に説明を行うロールプレイングを行いました。実際の現場がイメージしやすい内容で、どういうポイントに気をつけ EBM を実践するべきかを学ぶことが出来ました。

学生活動紹介では、各大学での医療系サークルの活動や取り組みを紹介しました。どの大学もオリジナリティ溢れる内容で面白く、今後の大学生活の参考にもなりました。

前回好評であった Meet the Experts では、講師ごとにグループを作成し、今後の進路や現場での体験など、レクチャー中には聞けない様々な話を伺うことが出来ました。

参加者の方からは「来てよかった」「低学年でも楽しめた」といった感想を頂くことができました。終了後にスタッフ間で来年度も継続することを確認しました。次回もよりブラッシュアップした交流会となるように、しっかりと準備して行きたいと考えています。



文責：日本プライマリ・ケア連合学会 学生・研修医部会 中国支部長

山口大学医学部医学科 5年

木安 貴大

【勉強会報告】 第1回やまぐち総合診療セミナー～長州塾～ (10月4日)

日本プライマリ・ケア連合学会共催ではおそらく山口県初!となる「第1回やまぐち総合診療セミナー～長州塾～」が山口県防府市の山口県立総合医療センターにて行われました。対象はプライマリ・ケアに興味のある人や従事している人として、日本プライマリ・ケア連合学会のメーリングリストなどを通じて広く参加を募りました。プライマリ・ケアを合い言葉に予想を超え、総勢52名の参加がありました。山口県からだけでなく広島県や島根県から、医師だけでなく薬剤師も、病院勤務からへき地医療機関、市街地開業医院など多岐に渡る方のご参加です。

内容は何度も主催者実行委員と講師が吟味しました。そして、“今日からプライマリ・ケアの現場で使える技術・知識をみんなで共有”というテーマにしました。

午前午後をそれぞれ2演題ずつ以下の4つです。

「プライマリ・ケアで役立つ心電図の知識」

徳山中央病院 総合診療内科 三浦俊郎先生

「四肢外傷の初期治療のコツ」

山口県立総合医療センター 整形外科 瀬戸信一郎先生

「形成外科医が伝授するプライマリ・ケアで必要な縫合の極意」

山口県立総合医療センター 形成外科 宮内律子先生

「外来で行う総合診療の臨床推論に触れる～段階的に鑑別診断を広げる方法～」

萩市民病院 総合診療科 齊藤裕之先生

心電図では ECG Systematic reading Method に準じて抜けがなく、適切な心電図アプローチについて学びました。四肢外傷は、救急外来で遭遇する頻度の高い外傷を中心にレクチャーを受けた後、シーネ固定を参加者が講師のアドバイスを受けながら実践しました。形成外科でも講義のあと、参加者全員が実際に縫合実習も行いました。縫合実習では、講師に加えアドバイザーとして山口県立総合医療センター 形成外科部長 村上隆一先生、岩国医療センター 形成外科部長 青雅一先生にもご指導頂きました。臨床推論は、“長州力!!”も飛び出し、外来診断学、鑑別診断の作り方、鑑別診断の落とし穴というテーマに沿って学びました。セミナー終了後、へき地医療支援部で懇親会も開催しました。合計5時間という長丁場ではありましたが、参加者のからは「とても楽しく学ばせていただきました。」「良い講師を選んでくれて感謝します。」といった嬉しい感想もありました。次回以降の継続開催を参加者一同で確認しました。



[支部報告] 山口県支部立ち上げ世話人会

“プライマリ・ケア連合学会山口県支部”の設立を目指した世話人会が、上記セミナーに並行して開催されました。世話人会は、第2回目です。世話人会の参加者の内訳は、プライマリ・ケア連合学会後期研修プログラム責任者3名、同後期研修プログラム準備医療施設責任者2名、地元山口大学医学部1名、オブザーバー2名です。確認した内容は、支部会構成メンバー、メーリングリストなどの連絡方法、定款などです。山口県のプライマリ・ケアの発展そして地域医療の充実を目的とした、山口県支部会の設立、総会に向けて準備中です。垣根の低い、継続可能な楽しい支部会活動を目指しています。

中嶋裕、原田昌範（山口県立総合医療センター へき地医療支援部/山口県防府市）

（全体の文責 中国ブロック支部長 松下明 社会医療法人清風会 岡山家庭医療センター
奈義ファミリークリニック）